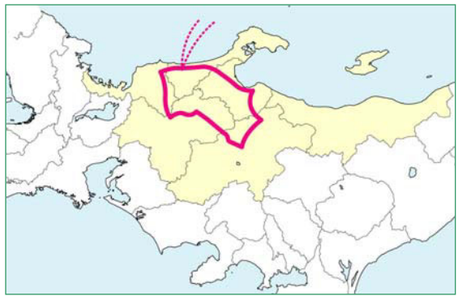
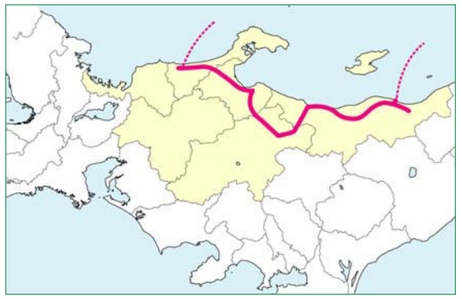
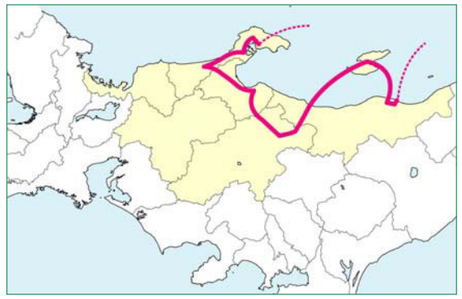
■本調査で検討した新たなルート一覧図（B：インバウンド旅行者向け）



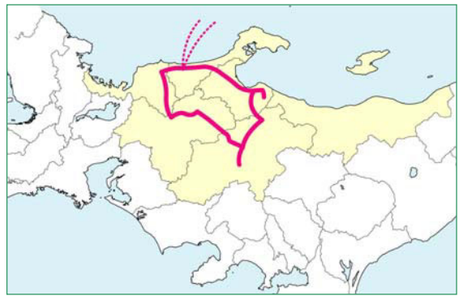
B①／韓国向け
小松空港 IN／OUT



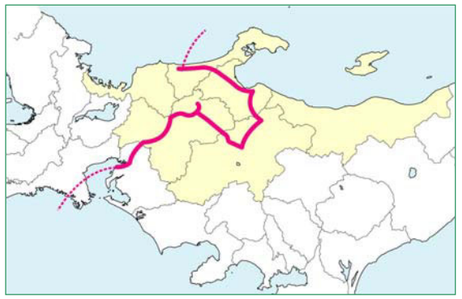
B②／韓国向け
小松空港 IN／新潟空港 OUT



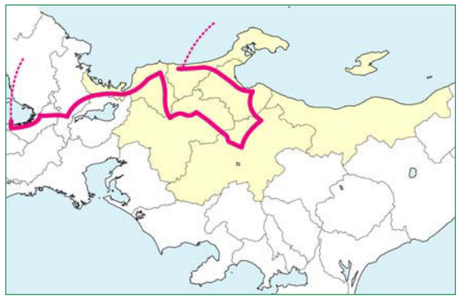
B③／台湾向け
新潟空港 IN／能登空港 OUT
（能登空港 IN／新潟空港 OUT）



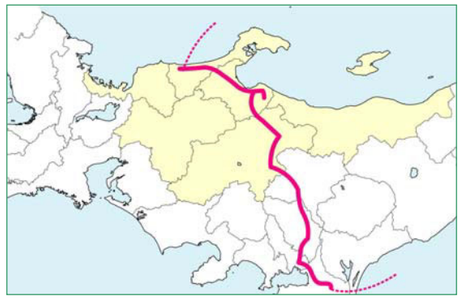
B④／台湾向け
小松空港 IN／OUT



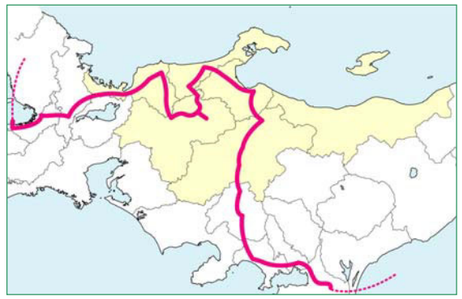
B⑤／台湾向け
小松空港 IN／中部国際空港 OUT
(中部国際空港 IN／小松空港 OUT)



B⑥／台湾向け
関西空港 IN／小松空港 OUT
（小松空港 IN／関西空港 OUT）



B⑦／台湾向け
小松空港 IN／成田空港 OUT



B⑧／旅行日程の長い旅行者向け
関西空港 IN／成田空港 OUT

B⑨／旅行日程の長い旅行者向け
成田空港 IN／関西空港 OUT　Ⅰ

B⑨／旅行日程の長い旅行者向け
成田空港 IN／関西空港 OUT　Ⅱ

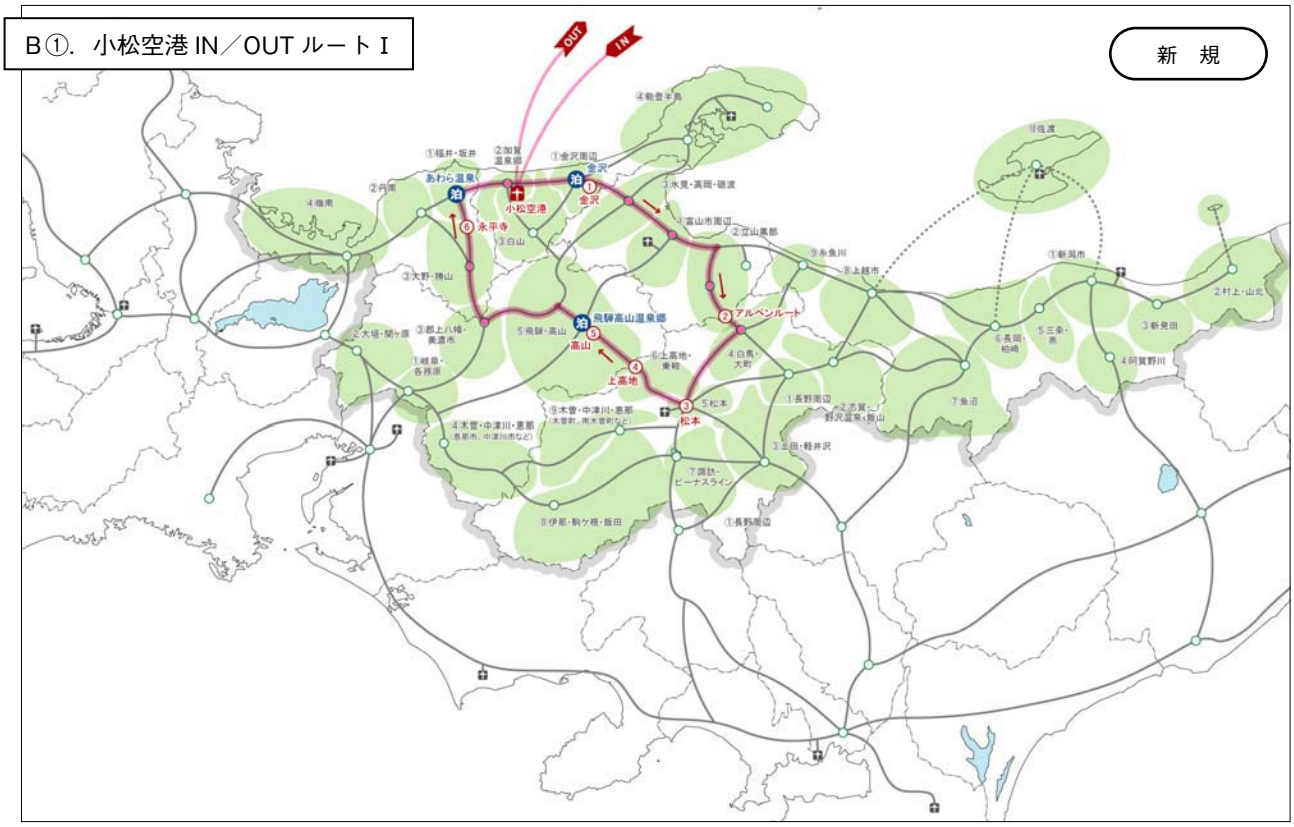
※次頁より B⑥と B⑩の２ルートの検討内容を示した。本編では、すべてのルートについて同様の検討を行っている。

【Ｂインバウンド】韓国人向けルート案（1）

① 小松空港 IN／OUT ルート（３泊４日）	
ルートの基本的な考え方	・小松空港の韓国定期便を活かし IN/OUT するルート。 ・北陸新幹線利用による時間短縮効果を活用し、遠距離の移動時間を短縮させる。
広域連携推進の視点・方策	［活用可能な高速交通体系］ 〇北陸新幹線 〇北陸自動車道、長野道、中部縦貫道など ［留意点・考えられる取り組みなど］ ・FIT向けの公共交通機関の広域周遊割引切符（北陸新幹線＋立山黒部アルペンルートなどの組み合わせ。一部区間のレンタカー利用も含む。） ・FIT向けに白馬大町～高山～福井間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実（例：観光者向け都市間バス運行など） ・FIT向けレンタカー広域利用(他県での乗り捨てサービス（例：白馬大町～福井・坂井など） ・外国人向け道路案内標識の充実、道の駅など道路情報提供の核となる施設のサービス充実
想定されるコース例	
Ⅰ	
季節：春～秋、対象：個人又は少人数（FIT）、30 代以上	
【1 日目】小松空港着⇒金沢駅→金沢市街（①古都散策）→［金沢泊］ 【2 日目】金沢駅＝（北陸新幹線）＝富山駅＝（富山地鉄→②立山黒部アルペンルート）＝大町（以降レンタカー等）⇒松本（③松本城）⇒④上高地⇒高山（⑤高山陣屋見学）⇒［飛騨高山温泉郷泊］ 【3 日目】飛騨高山温泉郷⇒⑥永平寺⇒あわら温泉［あわら温泉泊］ 【4 日目】あわら温泉⇒小松空港発	
Ⅱ（アウトドア体験）	
季節：春～秋、対象：個人又は少人数（FIT）、20 代以上	
【1 日目】小松空港着⇒金沢駅（①古都散策）＝（北陸新幹線）＝富山駅＝（富山地鉄＝②立山黒部アルペンルート）＝室堂［みくりが池温泉泊］ 【2 日目】室堂＝（②立山黒部アルペンルート）＝大町（以降レンタカー等）⇒白馬（③アウトドアスポーツ・春スキー）→［白馬泊］ 【3 日目】白馬⇒④上高地⇒山中温泉［山中温泉泊］ 【4 日目】山中温泉⇒小松空港発	

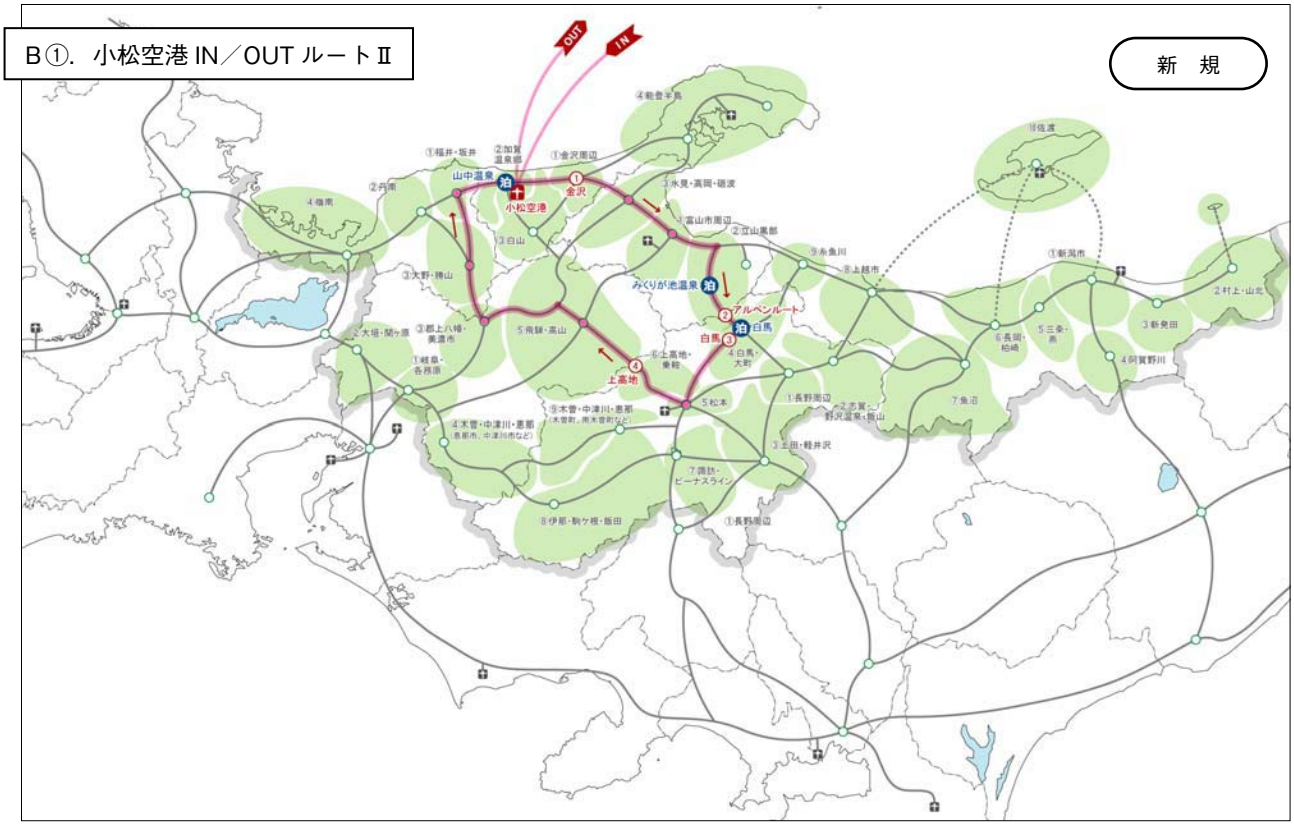
B①．小松空港 IN／OUT ルートⅠ

新　規



B①．小松空港 IN／OUT ルートⅡ

新　規

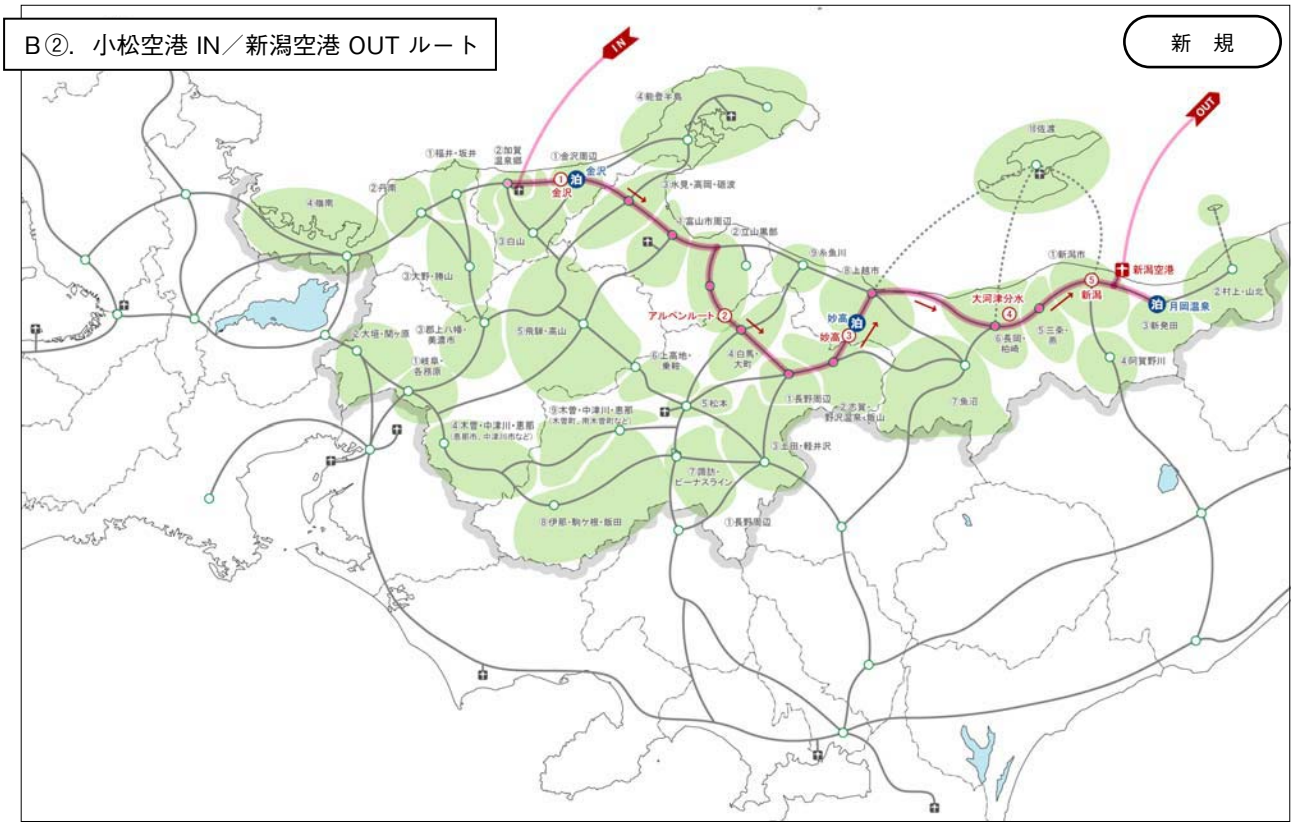


【Ｂインバウンド】韓国人向けルート案（2）

② 小松空港 IN／新潟空港 OUT ルート（３泊４日）	
ルートの基本的な考え方	・小松空港と新潟空港の韓国定期便を活かし、現状において関係が希薄な北陸―新潟間の周遊を促すルート。 ・北陸新幹線利用による時間短縮効果を活用し、遠距離の移動時間を短縮させる。
広域連携推進の視点・方策	[活用可能な高速交通体系] ○北陸新幹線、上越新幹線 ○北陸自動車道、上信越道、関越道など [留意点・考えられる取り組みなど] ・FIT向けの公共交通機関の広域周遊割引切符（北陸新幹線＋立山黒部アルペンルート。一部区間のレンタカー利用も含む。） ・FIT向けに白馬大町～長野間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実（例：観光者向け都市間バス運行など） ・FIT向けレンタカー広域利用(他県での乗り捨てサービス（例：白馬大町～新潟など）
想定されるコース例	
Ⅰ	
季節：春～秋、対象：個人又は少人数（FIT）、40 代以上	
【1 日目】小松空港着⇒金沢駅→（①古都散策）[金沢泊] 【2 日目】金沢駅＝（北陸新幹線）＝富山駅＝（富山地鉄→②立山黒部アルペンルート）＝大町⇒（以降レンタカー等／上信越道）⇒③妙高[妙高泊] 【3 日目】妙高⇒（上信越道／北陸道）⇒④大河津分水⇒（北陸道）⇒⑤新潟[月岡温泉泊] 【4 日目】新潟→新潟空港（午前）	
Ⅱ	
季節：夏、対象：個人又は少人数（FIT）、30 代以上	
【1 日目】小松空港着⇒金沢駅（①古都散策）[金沢泊] 【2 日目】金沢駅＝（北陸新幹線）＝富山駅＝（富山地鉄→②立山黒部アルペンルート）＝大町⇒長野＝（飯山線）＝野沢温泉[野沢温泉泊] 【3 日目】野沢温泉⇒（以降レンタカー等／R117・北陸道）⇒小千谷・山古志（③闘牛見学）⇒（関越道・北陸道）⇒新潟（④古町）→[新潟泊] 【4 日目】新潟→新潟空港（午前）	

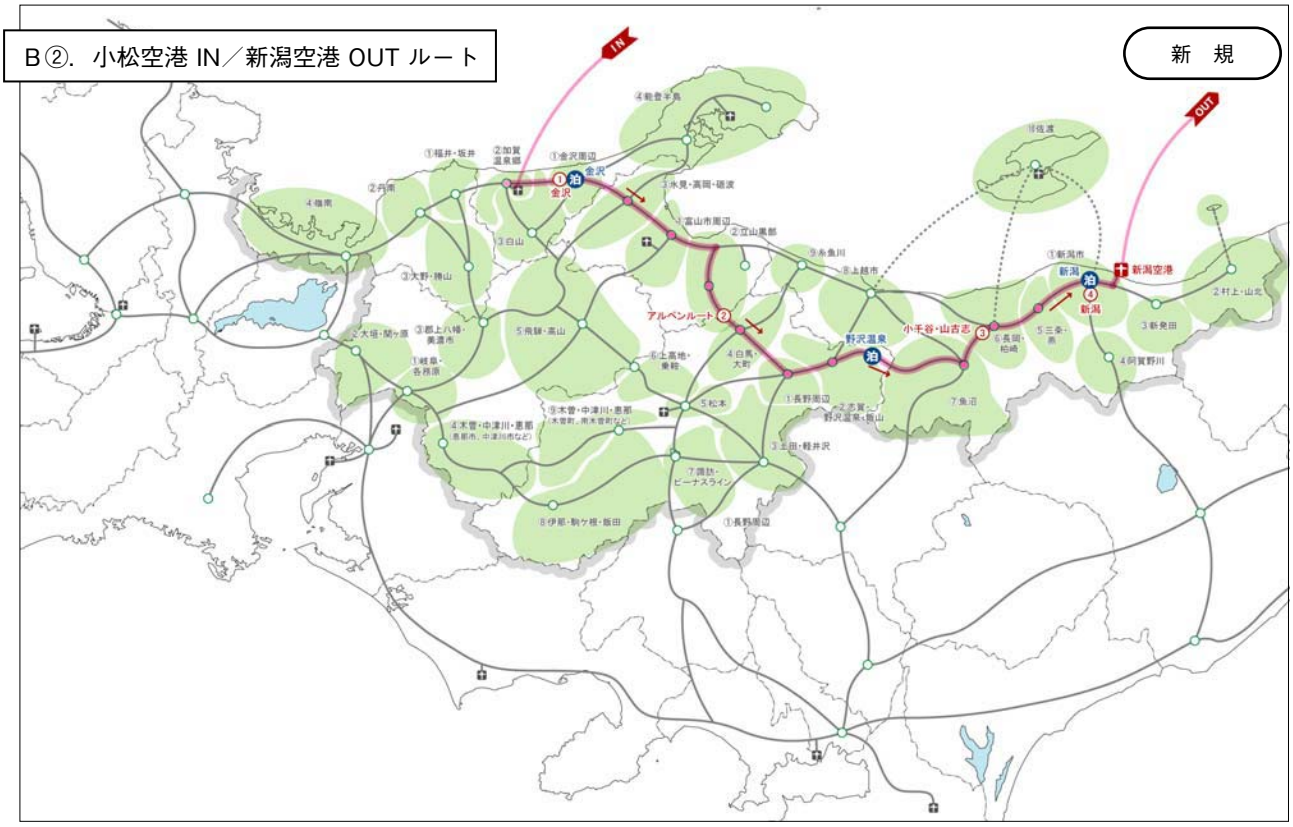
B②. 小松空港 IN／新潟空港 OUT ルート

新　規



B②. 小松空港 IN／新潟空港 OUT ルート

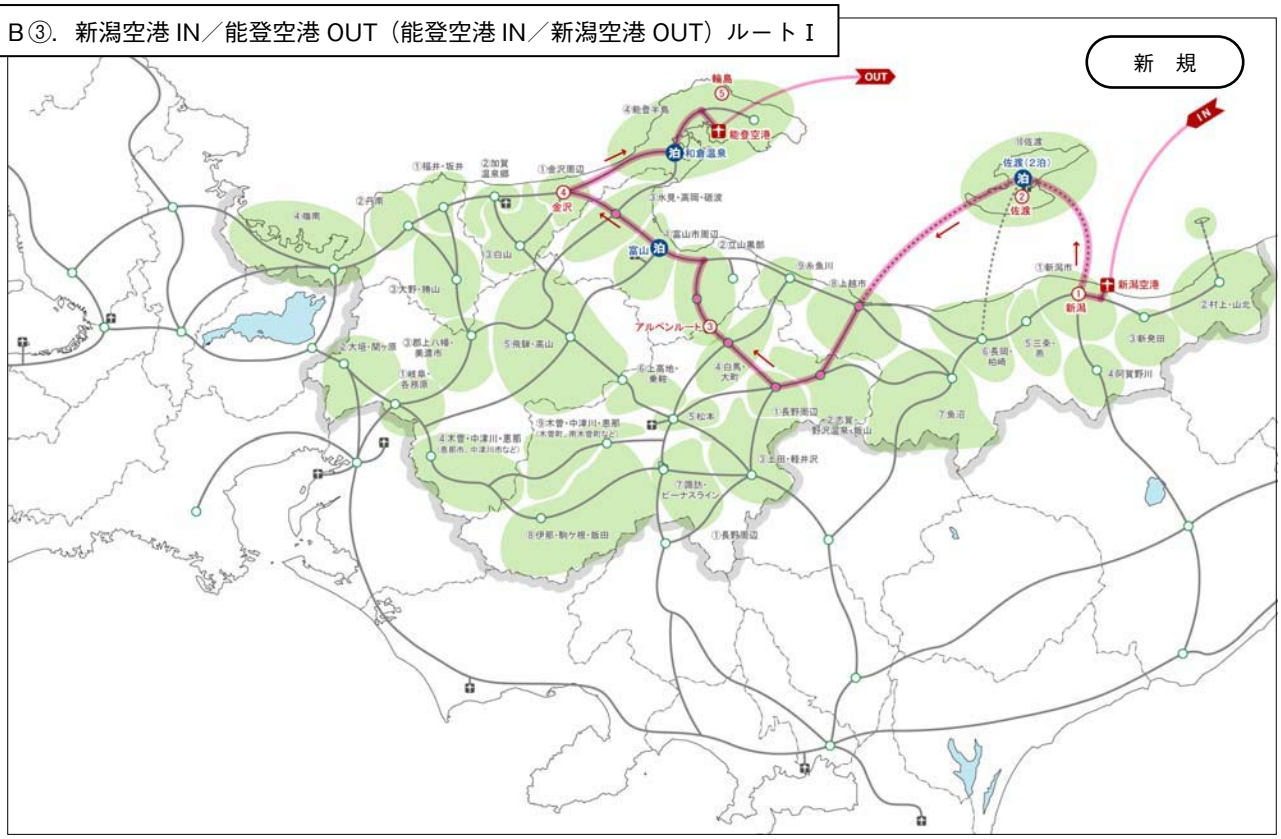
新　規



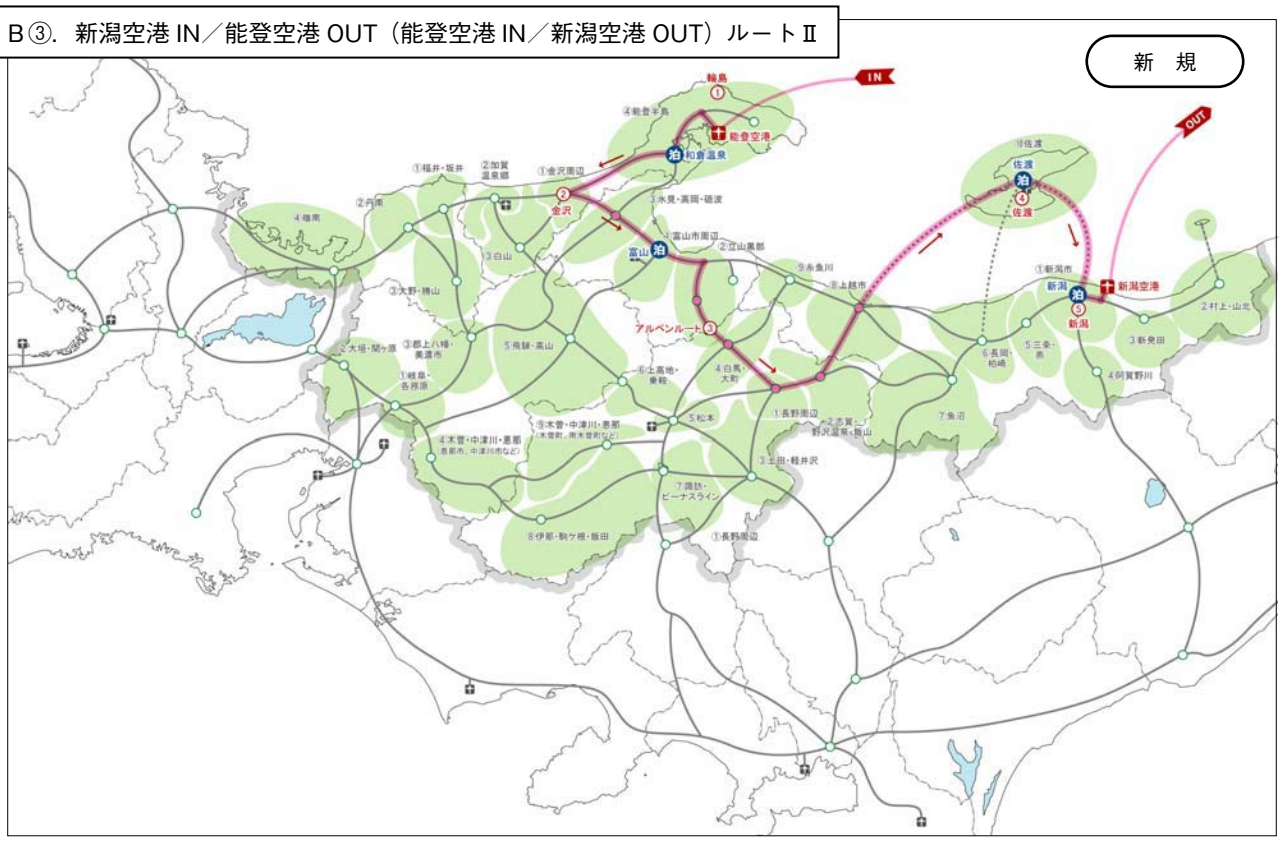
【Ｂインバウンド】台湾人向けルート案（1）

③ 新潟空港 IN／能登空港 OUT（能登空港 IN／新潟空港 OUT）ルート（４泊５日）	
ルートの基本的な考え方	・現状において連携の希薄な北陸―新潟間を連携するための、新潟空港 IN／能登空港 OUT のチャーター便による周遊ルート。団体バスによる移動を前提とする。
広域連携推進の視点・方策	［活用可能な高速交通体系］ 〇上信越道、北陸道ほか ［留意点・考えられる取り組みなど］ ・経路上の観光エリアでの魅力向上と連携により、主な観光地間の移動においてワンストップできる観光資源メニューづくり（例：下記Ⅱにおいて、大町～佐渡間の移動時に上越エリアなどに少し立ち寄る魅力的な観光地をつくるなど） ・佐渡航路（直江津～小木、新潟～両津間）の移動サービスの円滑化 ・直江津港と北陸新幹線・上越駅間のアクセス強化
想定されるコース例	
Ⅰ	
季節：春～秋、対象：団体（チャータ便）、40 代以上	
新潟空港 IN／能登空港 OUT 【1 日目】新潟空港着⇒新潟（①市内）～(佐渡航路)～佐渡[団体バス]⇒[佐渡泊] 【２日目】佐渡[団体バス](②島内観光)⇒[小木泊] 【３日目】小木～(佐渡航路)～⇒直江津港[団体バス]⇒長野⇒大町（③立山黒部アルペンルート）＝富山駅[富山泊] 【４日目】富山＝(北陸新幹線)＝金沢駅（④古都散策）[団体バス]⇒千里浜⇒和倉[和倉温泉泊] 【５日目】和倉温泉⇒輪島（⑤朝市）⇒能登空港発	
Ⅱ	
季節：春～秋、対象：団体（チャータ便）、40 代以上	
能登空港 IN／新潟空港 OUT 【1 日目】能登空港着⇒[団体バス]⇒輪島（①市内観光）⇒和倉[和倉温泉泊] 【２日目】和倉温泉[団体バス]⇒千里浜⇒金沢(②古都散策)⇒金沢駅＝(北陸新幹線)＝富山駅[富山泊] 【３日目】富山駅[団体バス]⇒（③立山黒部アルペンルート）＝大町[団体バス]⇒長野⇒直江津港～(佐渡航路）～佐渡→[小木泊] 【４日目】佐渡（④島内観光）[団体バス]⇒両津～（佐渡航路）～新潟［新潟泊] 【５日目】新潟⇒（⑤新潟市内観光）⇒新潟空港発	

B③. 新潟空港 IN／能登空港 OUT（能登空港 IN／新潟空港 OUT）ルートⅠ



B③. 新潟空港 IN／能登空港 OUT（能登空港 IN／新潟空港 OUT）ルートⅡ

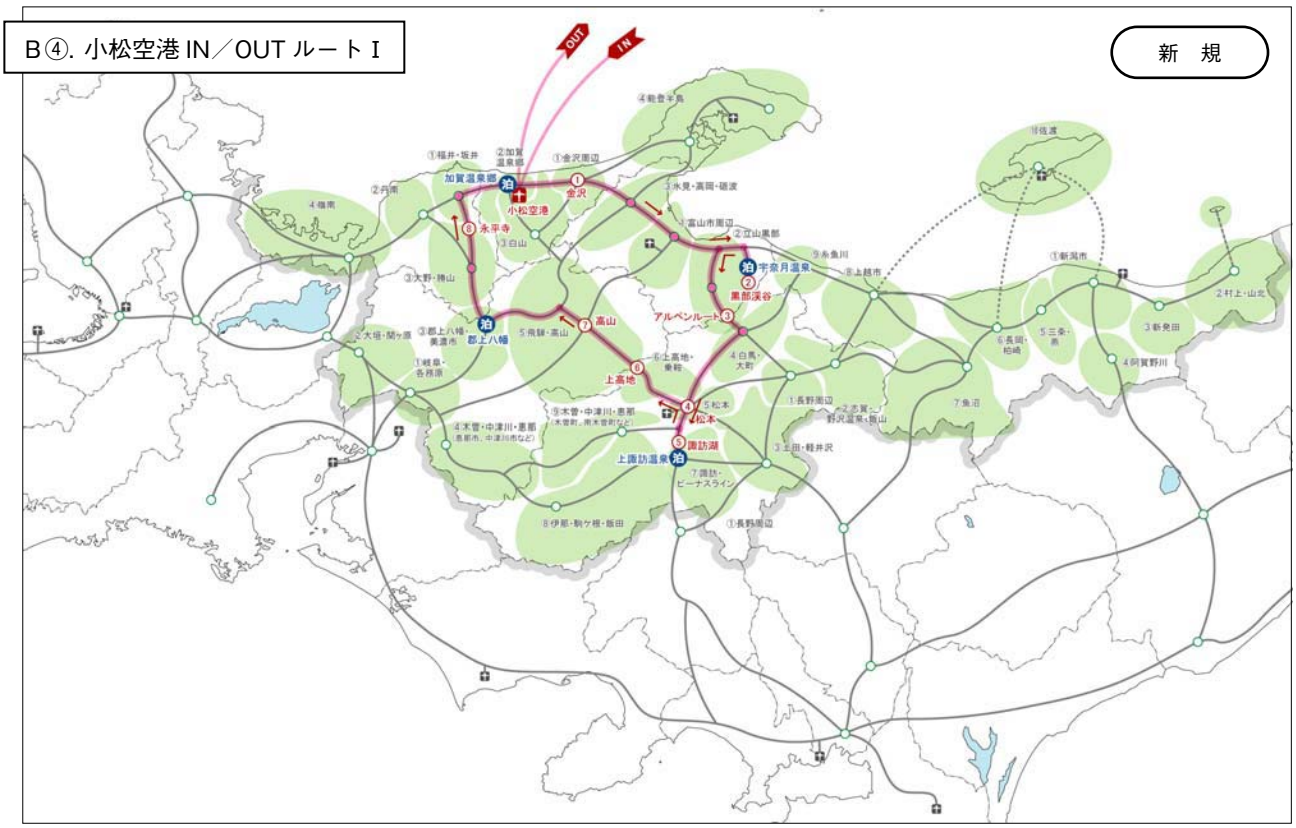


【Bインバウンド】台湾人向けルート案（2）

④ 小松空港 IN／OUT ルート（４泊５日）	
ルートの基本的な考え方	・小松空港の台湾定期便就航を活かし IN/OUT するルート。 ・北陸新幹線利用による時間短縮効果を活用し、遠距離の移動時間を短縮させる。
広域連携推進の視点・方策	[活用可能な高速交通体系] ○北陸新幹線 ○北陸自動車道、長野道、中部縦貫道など [留意点・考えられる取り組みなど] ・FIT向けの公共交通機関の広域周遊割引切符（北陸新幹線＋立山黒部アルペンルートなど。一部区間のレンタカー利用も含む。） ・FIT向けに白馬大町～高山～福井間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実（例：観光者向け都市間バス運行など） ・FIT向けレンタカー広域利用(他県での乗り捨てサービス（例：白馬大町～福井・坂井など） ・外国人向け道路案内標識の充実、道の駅など道路情報提供の核となる施設のサービス充実
想定されるコース例	
Ⅰ	
季節：夏、対象：個人又は少人数（FIT）、20 代以上	
【1 日目】（夕方）小松空港着⇒加賀温泉郷［加賀温泉郷泊］ 【2 日目】加賀温泉郷⇒金沢駅（①古都散策）＝（北陸新幹線）＝新黒部駅⇒宇奈月＝②黒部峡谷［宇奈月温泉泊］ 【3 日目】宇奈月⇒新黒部駅＝（北陸新幹線）＝富山駅＝（富山地鉄→③立山黒部アルペンルート）＝大町＝松本駅（④松本城見学）＝諏訪駅（⑤諏訪湖／7 月下旬～9 月初旬花火大会）［上諏訪温泉泊］ 【4 日目】諏訪駅＝松本（以降レンタカー等）⇒⑥上高地⇒高山（⑦高山陣屋見学）[郡上八幡泊] 【5 日目】郡上八幡⇒⑧永平寺⇒小松空港（夕方）発	

B④. 小松空港 IN／OUT ルートⅠ

新　規



【Ｂインバウンド】台湾人向けルート案（3）

⑤小松空港 IN／中部国際空港 OUT（中部国際空港 IN／小松空港 OUT）ルート（４泊５日）	
ルートの基本的な考え方	・小松空港の台湾定期便就航を活かし、中部国際空港とを結ぶ周遊ルート ・北陸新幹線利用による時間短縮効果を活用し、複数の観光エリアを訪問。
広域連携推進の視点・方策	[活用可能な高速交通体系] 〇北陸新幹線 〇北陸自動車道、東海北陸道、長野自動車道、中部縦貫道など [留意点・考えられる取り組みなど] ・FIT向けの公共交通機関の広域周遊割引切符（北陸新幹線＋立山黒部アルペンルートなど。一部区間のレンタカー利用も含む。） ・FIT向けに白馬大町～高山間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実（例：観光者向け都市間バス運行など） ・FIT向けレンタカー広域利用(他県での乗り捨てサービス（例：名古屋～白馬大町など） ・外国人向け道路案内標識の充実、道の駅など道路情報提供の核となる施設のサービス充実

想定されるコース例

Ⅰ

季節：夏、対象：個人又は少人数（FIT）、20 代以上

小松空港 IN／中部国際空港 OUT
【1 日目】（夕方）小松空港着⇒加賀温泉郷→［加賀温泉郷泊］
【２日目】加賀温泉郷⇒金沢駅（①古都散策）＝(北陸新幹線)＝富山駅（富山地鉄＝②立山黒部アルペンルート→大町）＝松本[松本泊]
【３日目】松本⇒（以降レンタカー等）⇒③上高地⇒④高山⇒⑤白川郷⇒高山[高山泊]
【４日目】高山⇒(中部縦貫道・東海北陸道）⇒郡上八幡⇒岐阜⇒名古屋[名古屋市内泊]
【５日目】⑥名古屋（名古屋城見学）→中部国際空港

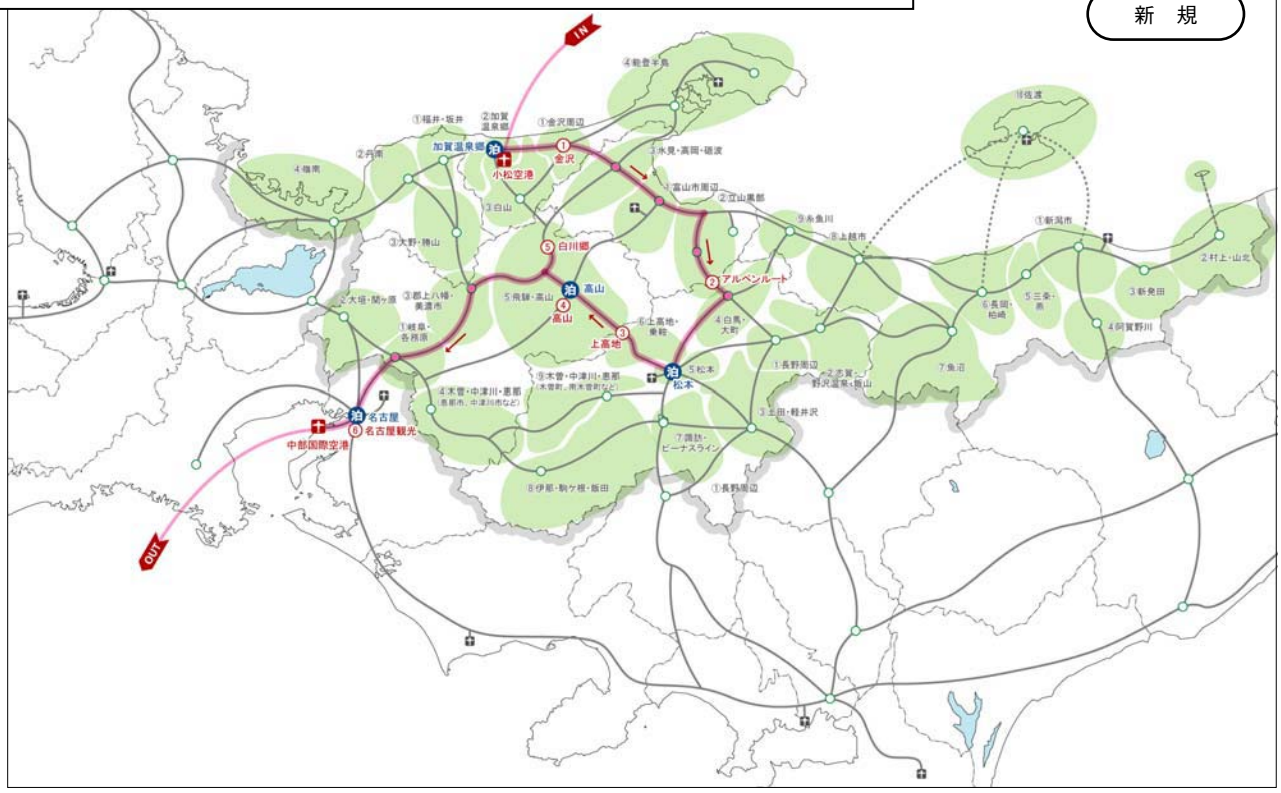
Ⅱ

季節：秋、対象：個人又は少人数（FIT）、30 代以上

中部国際空港 IN／小松空港 OUT ルート
【1 日目】中部国際空港＝名古屋（①名古屋城見学）→[名古屋泊]
【2 日目】名古屋＝（東海道線）＝岐阜（高山本線）＝下呂→[下呂温泉泊]
【3 日目】下呂＝（高山本線）＝高山（以降レンタカー等・②高山陣屋見学）⇒③上高地⇒松本（④松本城見学）⇒白馬→［白馬泊]
【4 日目】白馬⇒大町＝（⑤立山黒部アルペンルート→富山地鉄）＝富山駅＝（北陸新幹線）＝金沢駅→[金沢泊]
【5 日目】金沢（⑥古都散策）⇒小松空港（夕方）発

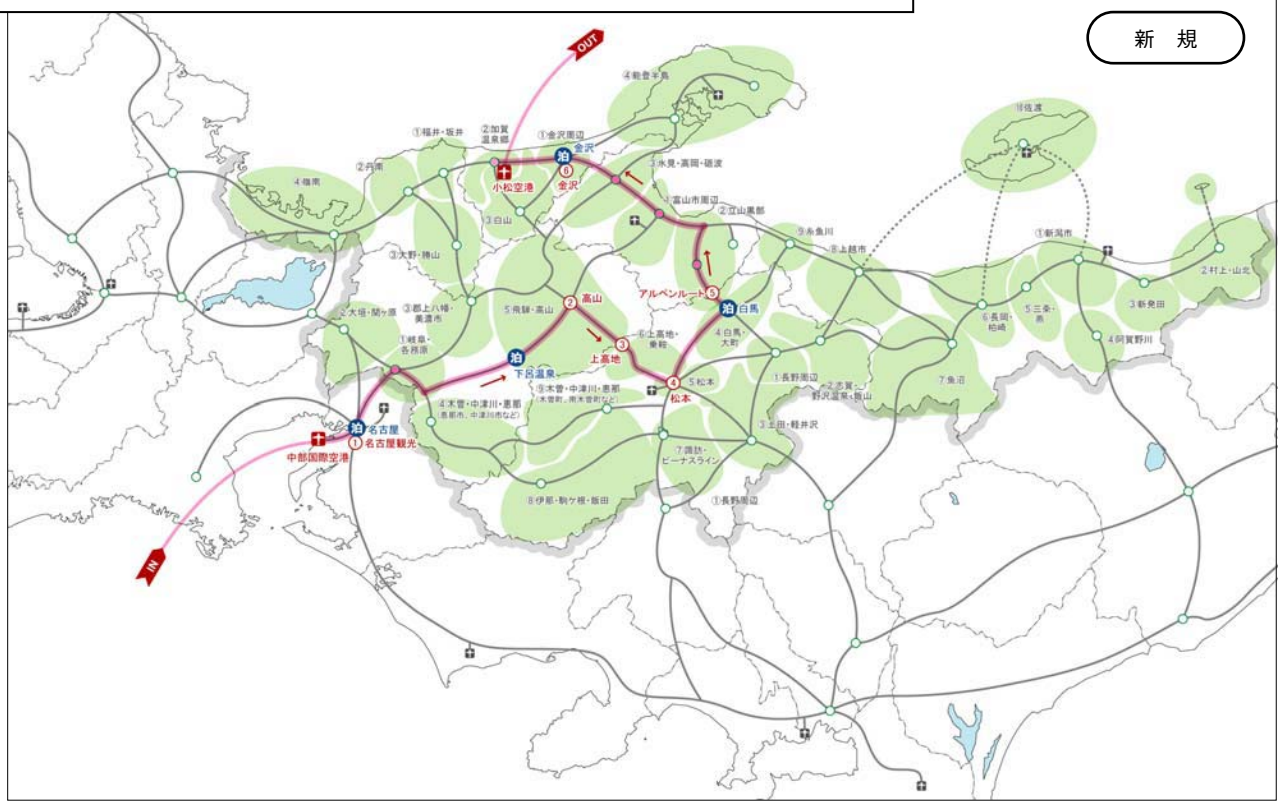
B⑤．小松空港 IN／中部国際空港 OUT（中部国際空港 IN／小松空港 OUT）ルート

新　規



B⑤．小松空港 IN／中部国際空港 OUT（中部国際空港 IN／小松空港 OUT）ルート

新　規



【Ｂインバウンド】台湾人向けルート案（4）

⑥ 関西空港 IN／小松空港 OUT（小松空港 IN／関西空港 OUT）ルート（４泊５日）	
ルートの基本的な考え方	・小松空港の台湾定期便就航を活かし関西空港から入るルート。 ・北陸新幹線利用による時間短縮効果を活用し、遠距離の移動時間を短縮させる。
広域連携推進の視点・方策	[活用可能な高速交通体系] ○名神道、北陸自動車道、東海北陸道、中部縦貫道、長野道、など [留意点・考えられる取り組みなど] ・FIT向けの公共交通機関の広域周遊割引切符（北陸新幹線＋立山黒部アルペンルートなど。一部区間のレンタカー利用も含む。） ・FIT向けに福井・坂井～高山～白馬大町間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実（例：観光者向け都市間バス運行など） ・FIT向けレンタカー広域利用(他県での乗り捨てサービス（例：福井・坂井～高山～白馬大町など） ・外国人向け道路案内標識の充実、道の駅など道路情報提供の核となる施設のサービス充実

想定されるコース例

Ⅰ

季節：夏、対象：個人又は少人数（FIT）、20 代以上

関西空港 IN／小松空港 OUT ルート

【1 日目】関西国際空港＝京都（①寺郡見学）→[京都泊]
【2 日目】京都＝（ＪＲ）＝あわら温泉駅[レンタカー等]⇒②東尋坊⇒③永平寺⇒④高山⇒飛騨高山温泉郷→[飛騨高山温泉郷泊]
【3 日目】飛騨高山温泉郷⇒高山（④高山陣屋見学）⇒松本（⑤松本城見学）＝[大町泊]
【４日目】大町＝（⑥立山黒部アルペンルート）＝富山駅＝（北陸新幹線）＝新高岡駅（⑦金屋町見学）→[高岡泊]
【5 日目】新高岡駅＝（北陸新幹線）＝金沢駅（⑧古都散策）⇒小松空港（夕方）発

Ⅱ

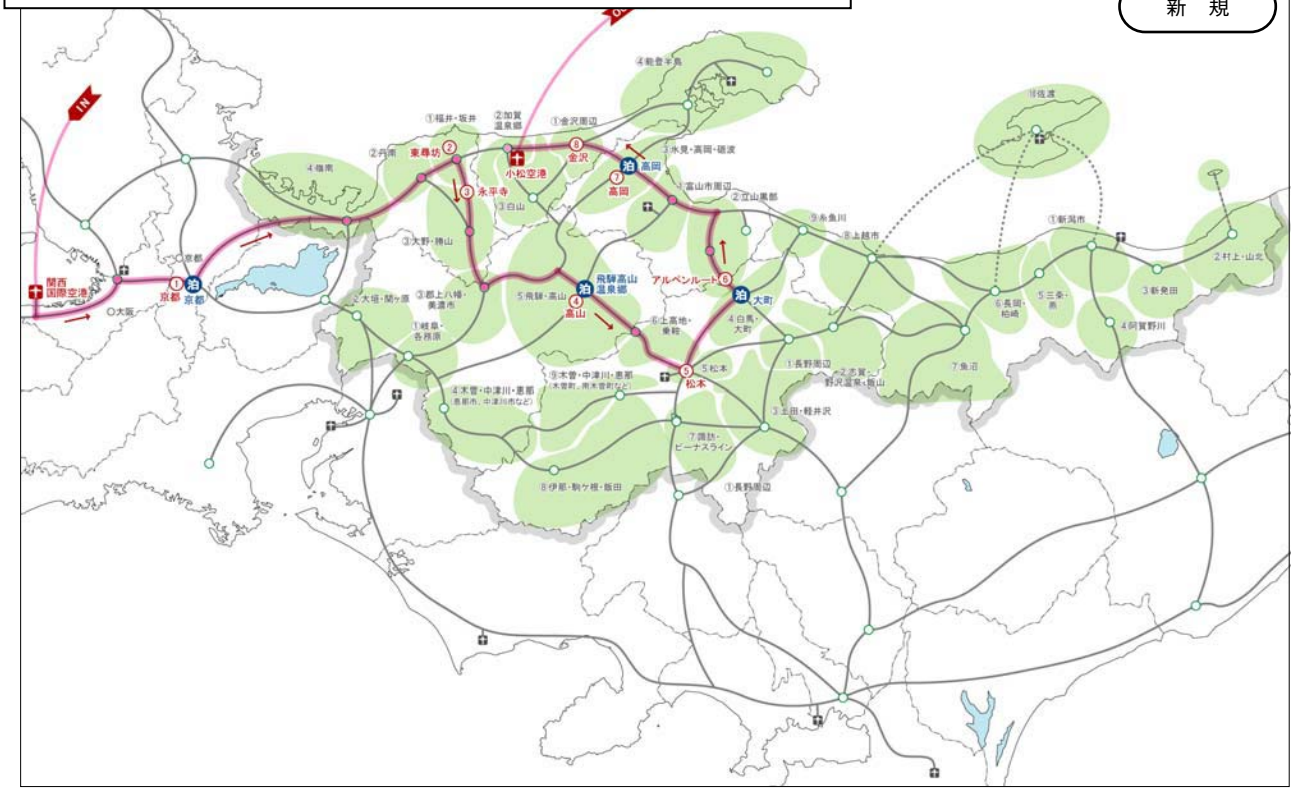
季節：秋、対象：個人又は少人数（FIT）、30 代以上

小松空港 IN／関西空港 OUT ルート

【1 日目】（夕方）小松空港着⇒加賀温泉郷→［加賀温泉郷泊］
【２日目】加賀温泉郷⇒金沢駅（①古都散策）＝（北陸新幹線）＝新高岡駅（②金屋町見学）＝（北陸新幹線）＝富山駅＝（③立山黒部アルペンルート）＝室堂→[みくりが池温泉泊]
【３日目】室堂＝（③立山黒部アルペンルート）＝大町⇒（以降レンタカー等）⇒松本（④松本城見学）⇒高山（⑤高山陣屋見学）⇒飛騨高山温泉郷→[飛騨高山温泉郷泊]
【４日目】飛騨高山温泉郷⇒⑥永平寺⇒⑦東尋坊＝あわら温泉駅＝（ＪＲ）＝京都駅［京都泊］
【５日目】京都（⑧寺郡見学）＝大阪＝関西国際空港

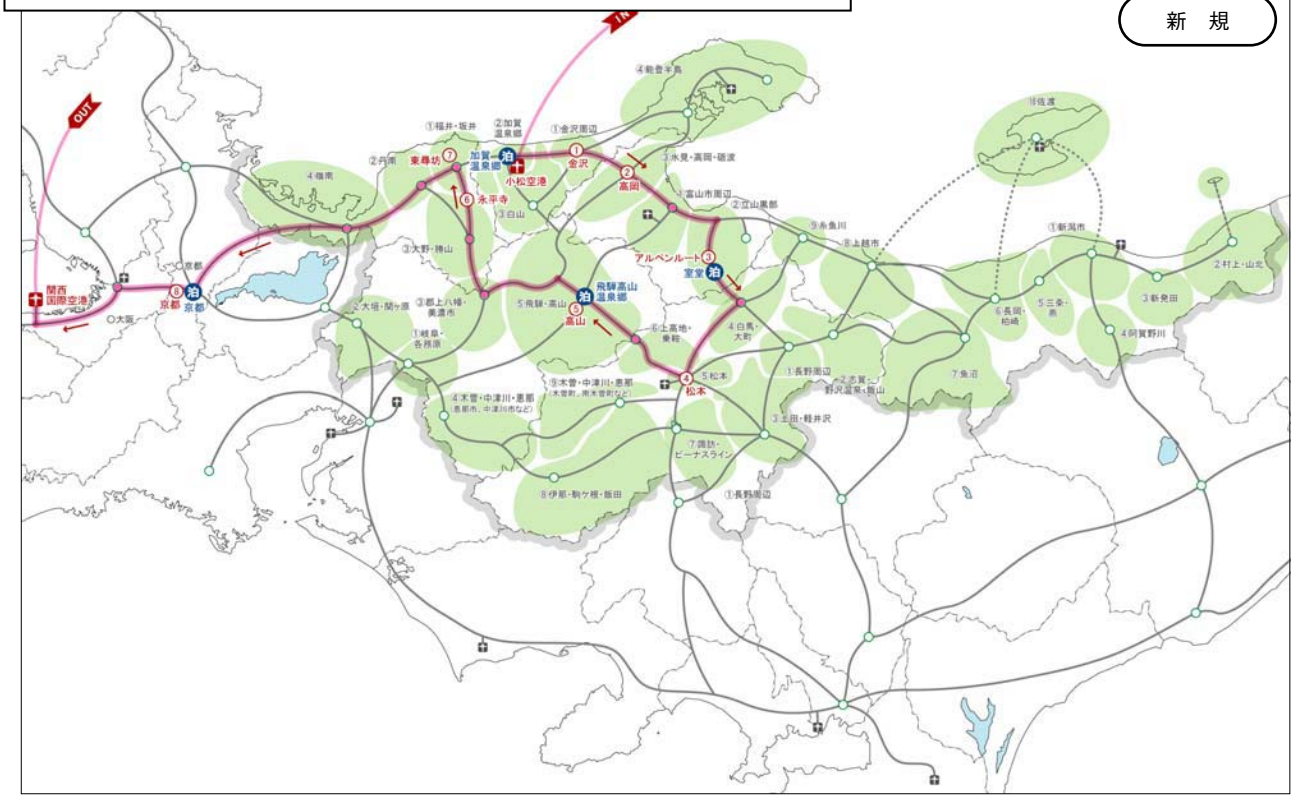
B⑥. 関西空港 IN／小松空港 OUT（小松空港 IN／関西空港 OUT）ルートⅠ

新　規



B⑥. 関西空港 IN／小松空港 OUT（小松空港 IN／関西空港 OUT）ルートⅡ

新　規

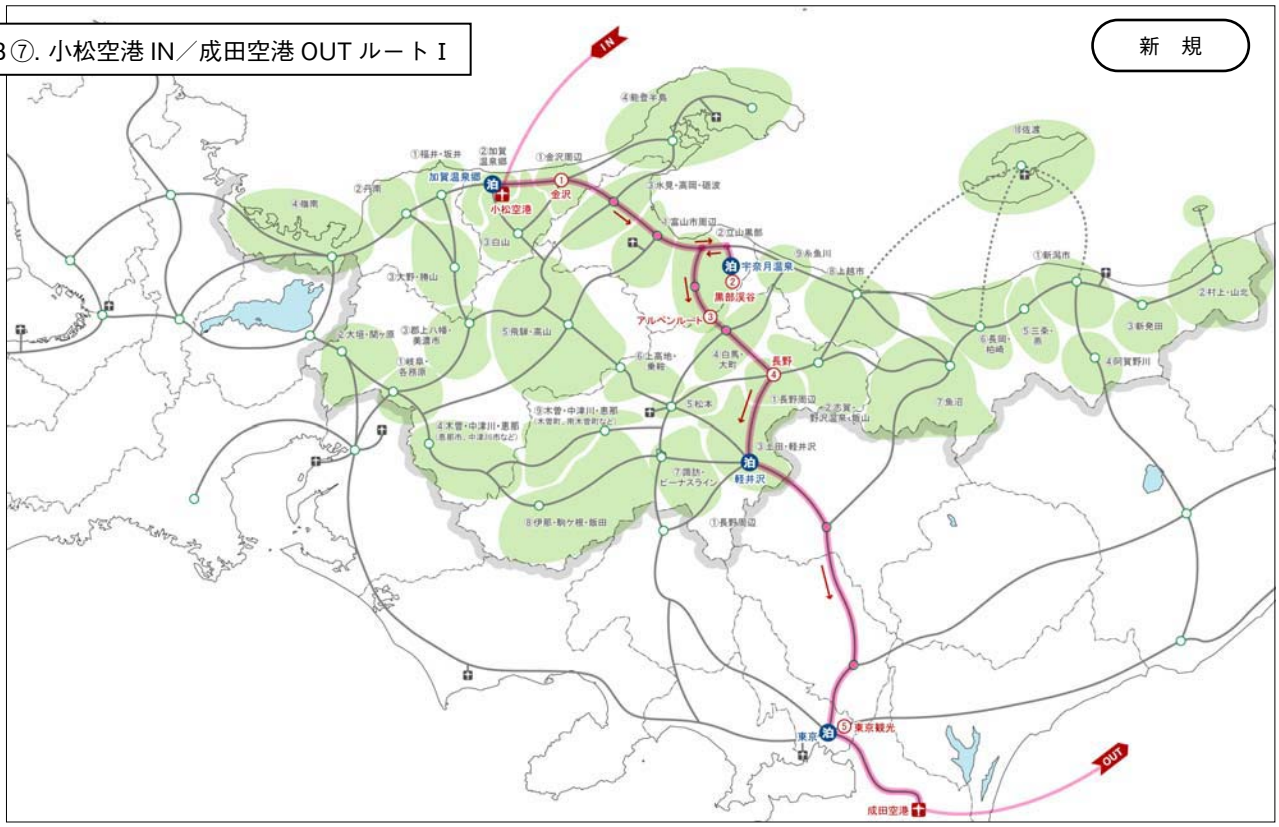


【Ｂインバウンド】台湾人向けルート案（5）

⑦ 小松空港 IN／成田空港 OUT ルート（４泊５日）	
ルートの基本的な考え方	・小松空港の台湾定期便就航を活かし、成田空港とを結ぶ周遊ルート ・北陸新幹線利用による時間短縮効果を活用し、複数の観光エリアを訪問。
広域連携推進の視点・方策	[活用可能な高速交通体系] ○北陸新幹線 ○北陸自動車道、関越自動車道など [留意点・考えられる取り組みなど] ・FIT向けの公共交通機関の広域周遊割引切符（北陸新幹線＋立山黒部アルペンルートなど。一部区間のレンタカー利用も含む。） ・FIT向けに白馬大町～長野間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実（例：観光者向け都市間バス運行など） ・FIT向けレンタカー利用サービスの充実 ・外国人向け道路案内標識の充実、道の駅など道路情報提供の核となる施設のサービス充実
想定されるコース例	
Ⅰ	
季節：春～秋、対象：個人又は少人数（FIT）、30 代以上	
【1 日目】（夕方）小松空港着⇒加賀温泉郷→［加賀温泉郷泊］ 【２日目】加賀温泉郷⇒金沢駅（①古都散策）＝(北陸新幹線)＝新黒部駅⇒宇奈月＝②黒部峡谷→[宇奈月温泉泊] 【３日目】宇奈月⇒新黒部駅＝(北陸新幹線)＝富山駅＝③立山黒部アルペンルート＝大町⇒（バス等）⇒長野（④善光寺見学）＝(北陸新幹線)＝軽井沢［軽井沢泊］ 【４日目】軽井沢＝(北陸新幹線)＝⑤東京駅(都内観光)[都内泊] 【５日目】都内＝成田空港	

B⑦. 小松空港 IN／成田空港 OUT ルートⅠ

新　規

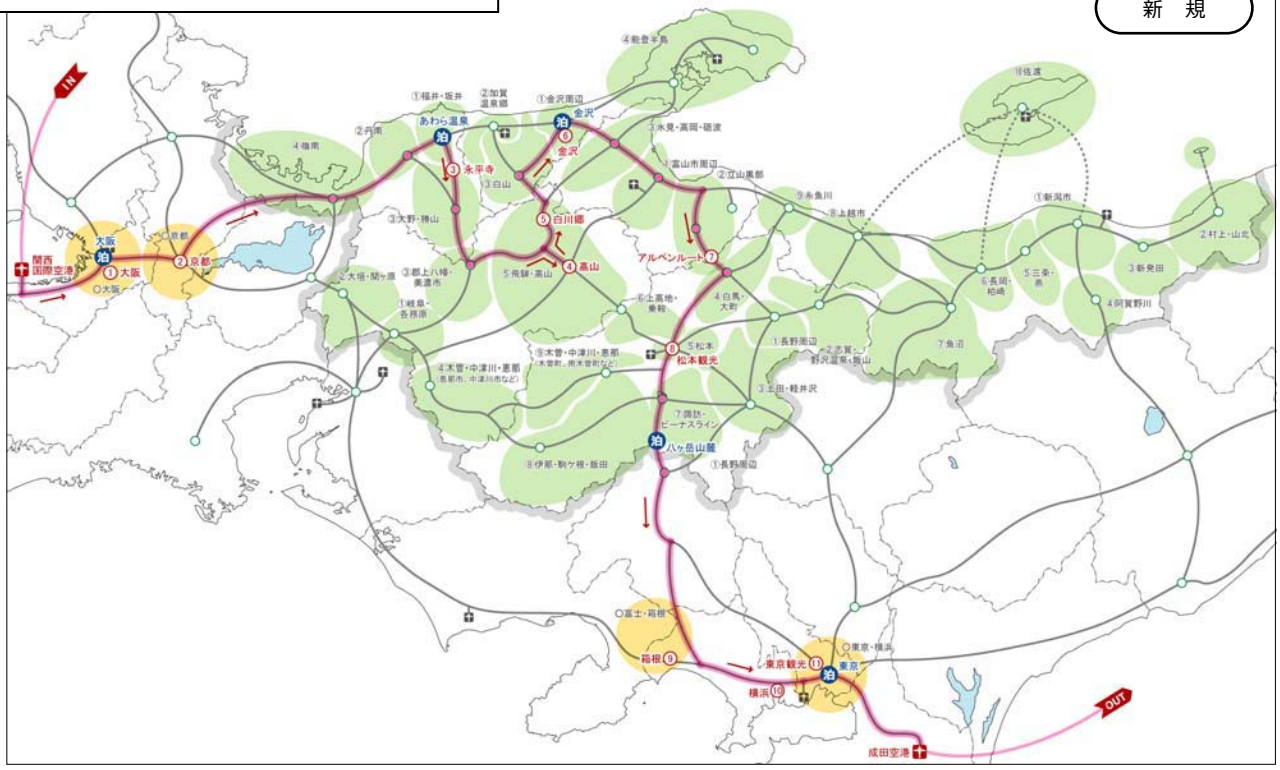


【Ｂインバウンド】旅行日程の長い旅行者向けルート案（1）

⑧　関西空港 IN／成田空港 OUT ルート（５泊６日）	
ルートの基本的な考え方	・既往の関西空港 IN／成田空港 OUT のセカンドゴールデンルート(中央道ルート)を改良し、北陸・岐阜・長野を訪問させるルート。 ・ゴールデンルートのメリットを保ちつつ、首都圏滞在時間を減らし、北陸エリア内での滞在時間を拡大させる。 ・中国人旅行向けの団体バスツアールートを想定。
広域連携推進の視点・方策	［活用可能な高速交通体系］ ○名神道、北陸道、東海北陸道、長野自動車道、中央道ほか ［留意点・考えられる取り組みなど］ ・北陸経由ルートを従来に替わる新たなインバウンド向けゴールデンルートとしてPRしていく ・周遊ルートとしてバリエーションを増やすための、各観光エリアの魅力向上 ・FIT向けとする場合は、福井～高山～金沢間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実が必要（例：観光者向け都市間バス運行、レンタカーなど）
想定されるコース例	
Ⅰ	
季節：夏、対象：団体（チャータ便）、30 代以上	
【1 日目】関西国際空港＝大阪＝京都（①寺群見学）［京都泊］ 【2 日目】京都＝（ＪＲ）＝あわら駅[団体バス]⇒②東尋坊[あわら温泉泊] 【3 日目】あわら温泉[団体バス]⇒③永平寺⇒（東海北陸道）⇒高山（④高山陣屋見学）⇒（東海北陸道）⇒⑤白川郷⇒（白山スーパー林道）⇒金沢（⑥古都散策）［金沢泊］ 【4 日目】金沢駅＝（北陸新幹線）＝富山駅＝（⑦立山黒部アルペンルート）＝大町[団体バス]⇒松本（松本城見学）⇒（中央道）⇒[八ヶ岳山麓泊] 【5 日目】八ヶ岳⇒（中央道）⇒箱根（⑧箱根温泉）⇒（東名高速）⇒⑨横浜［横浜泊］ 【6 日目】横浜＝東京（⑩都内見学）＝成田空港	

B⑧．関西空港 IN／成田空港 OUT ルートⅠ

新　規



【Ｂインバウンド】旅行日程の長い旅行者向けルート案（2）

⑨　成田空港 IN／関西空港 OUT ルート（８泊 10 日）	
ルートの基本的な考え方	・主に訪日リピーターをターゲットに、関西空港 IN と成田空港 OUT の既往の欧米人向けルートを改良して、北陸・岐阜・長野の滞在日数を増やすルート ・ゴールデンルートのメリットを保ちつつ、首都圏滞在時間を減らし、また北陸新幹線利用による時間短縮効果を活かして、北陸エリア内での滞在時間を拡大させる。
広域連携推進の視点・方策	［活用可能な高速交通体系］ ○北陸新幹線 ○北陸道、東海北陸道、中央道ほか ［留意点・考えられる取り組みなど］ ・北陸経由ルートを従来に替わる新たなインバウンド向けゴールデンルートとしてPRしていく ・周遊ルートとしてバリエーションを増やすための、各観光エリアの魅力向上 ・FIT向けの公共交通機関の広域周遊割引切符（北陸新幹線＋JR特急券＋立山黒部アルペンルートなど。一部区間のレンタカー利用も含む。） ・FIT向けに白馬大町～高山～能登間など公共交通網の脆弱な区間での移動サービスの充実（例：観光者向け都市間バス運行など） ・FIT向けレンタカー広域利用(他県での乗り捨てサービス（例：白馬大町～高山～能登など） ・外国人向け道路案内標識の充実、道の駅など道路情報提供の核となる施設のサービス充実

想定されるコース例

Ⅰ

季節：春～秋、対象：30 代以上

【１日目】米国発－［機中泊］
【２日目】成田着－東京［都内泊］
【３日目】東京(①都内観光）［都内泊］
【４日目】東京駅＝(北陸新幹線)＝長野駅(②善光寺他)⇒③地獄谷野猿公苑→［湯田中温泉泊］
【５日目】湯田中温泉⇒飯山駅＝(北陸新幹線)＝富山駅＝（④立山黒部アルペンルート）＝大町＝松本[泊]
【６日目】松本（⑤市内観光）［レンタカー等]⇒上高地⇒⑥高山⇒［高山泊］
【７日目】高山⇒(中部縦貫道・東海北陸道)⇒⑦白川郷⇒(東海北陸道・能越道)⇒⑧高岡⇒⑨氷見⇒和倉[和倉温泉泊]
【８日目】和倉温泉⇒千里浜海岸⇒金沢(⑩古都散策)＝あわら温泉[泊]
【９日目】あわら温泉駅＝京都駅（⑪寺群見学）［泊]
【10 日目】京都＝関西国際空港発－米国

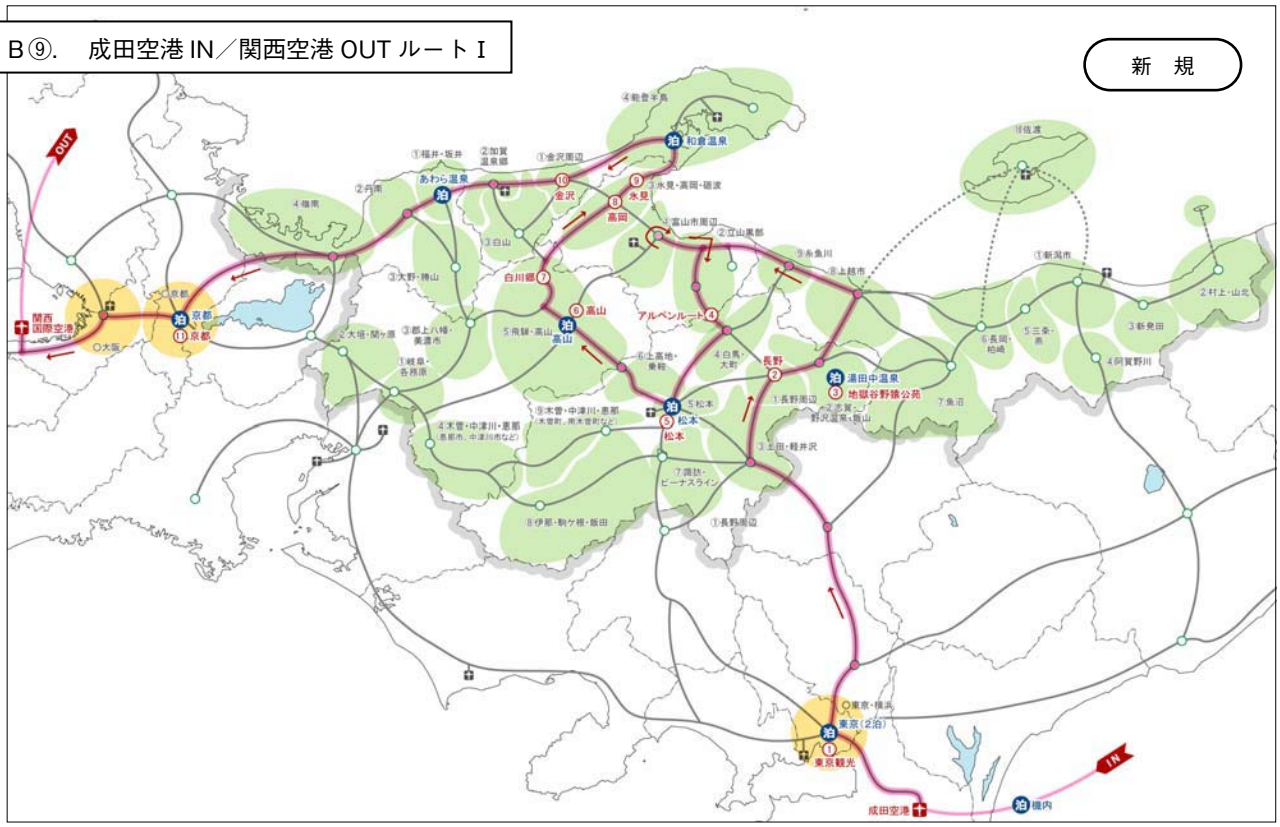
Ⅱ

季節：春～秋、対象：個人又は少人数（FIT)、20 代以上

【1 日目】(機内泊）
【2 日目】成田空港＝東京(①都内観光)→[東京泊]
【3 日目】東京駅＝（北陸新幹線）＝長野駅[レンタカー等]（②善光寺・戸隠神社・忍者の里チビッ子忍者村など）⇒白馬（③アウトドアスポーツ）→［白馬泊]
【4 日目】白馬⇒（④立山黒部アルペンルート）⇒松本（⑤松本城等見学）［松本泊]
【5 日目】松本⇒上高地⇒⑥高山⇒飛騨高山温泉郷[飛騨高山温泉郷泊]
【6 日目】飛騨高山温泉郷⇒⑦白川郷⇒（東海北陸自動車道・能越道）⇒高岡（⑧金屋町見学）⇒七尾（和倉温泉泊）
【7 日目】七尾⇒（能登有料・千里浜）⇒金沢（⑨古都散策）⇒加賀温泉郷［加賀温泉郷泊]
【8 日目】加賀温泉郷⇒東尋坊⇒あわら温泉駅＝京都駅［京都泊]
【9 日目】京都（⑩寺群見学）＝大阪
【10 日目】大阪→関西国際空港

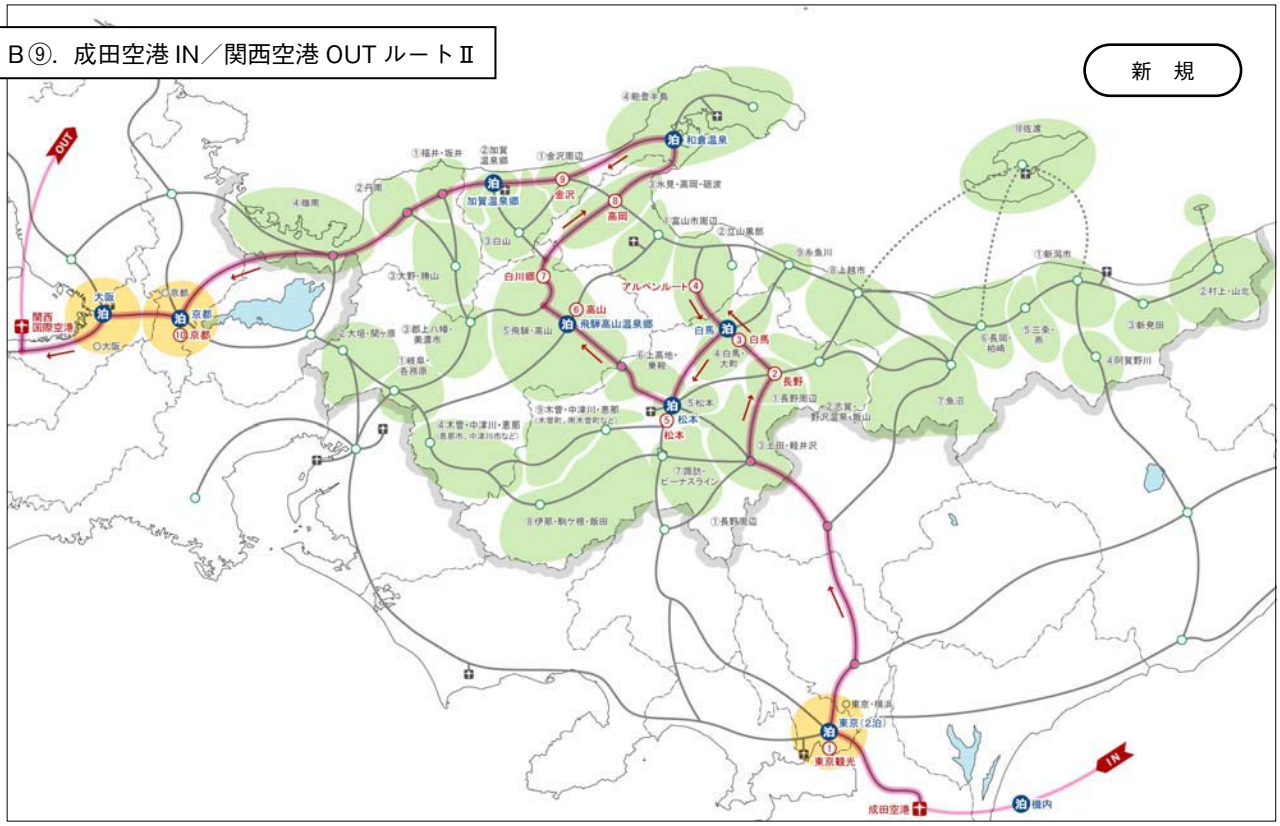
B⑨.　成田空港 IN／関西空港 OUT ルートⅠ

新　規



B⑨. 成田空港 IN／関西空港 OUT ルートⅡ

新　規



（3）新たなルートの形成と魅力的なルートづくりに向けた視点

新たなルートを想定し具体的に検討することで得られた課題に、3-2 の既往ルートでの検討も加味し、今後の観光ルート実現とその魅力向上に向けた視点を考察する。

1) 観光ルートの魅力向上のための課題等の整理

新たなルートの検討を通じて得られた課題や配慮すべき点について、検討の視点として掲げた４つの戦略別に以下に整理した。

①「新たな交通インフラによる効果を活かす」ためのルートづくり

・新幹線駅など、新たに整備される交通拠点から、周辺の観光地を結ぶ二次交通環境の整備が求められる。

・新幹線や高速道路など、新たな交通インフラの効果を最大限に生かすため、短区間での利用も促すとともに、それを誘導するインセンティブメニュー（乗り降り自由の商品プランなど）の開発も検討する必要がある。

②「圏域の一体性を高める」ためのルートづくり

・１日の移動距離が長くなる場合には、その経路上において魅力的な立ち寄り先をほどよい間隔で複数設定できるような環境を整える必要がある。その視点からルート上の観光エリアの魅力向上によって、ルート全体の魅力アップを図る必要がある。

・団体バス以外の手段でも移動することが可能な移動メニューを備えるなど、多様な移動手段や経路を選択できる移動環境の充実が求められる。

③「既往メインルートから引き込む」ためのルートづくり

・訪日外国人旅行者をターゲットとして、いわゆるゴールデンルート（又はセカンドゴールデンルート）に対抗できるコースとしての魅力を備えることが必要である。

・FIT 型の旅行形態を想定し、多様な移動手段を提供できる環境の充実が求められる。

④「特色を生かしたテーマやストーリーでつなぐ」ルートづくり

・例え足が長くても旅行してみたいと思わせるテーマやストーリーを設けることで、広域観光の必然性をつくることが必要である。

・共通するテーマやストーリーを掘り起こし、行程プランをたてるための情報収集整理とともに、コース商品として企画するための広域観光メニューづくりが求められるとともに、個々の観光資源のグレードアップ（磨き上げ）は不可欠といえる。

・また、祭りやイベントなどの開催時期の調整や PR など、ルートで連携する各観光エリア間での共同の仕組みづくりや人的ネットワークも必要といえる。

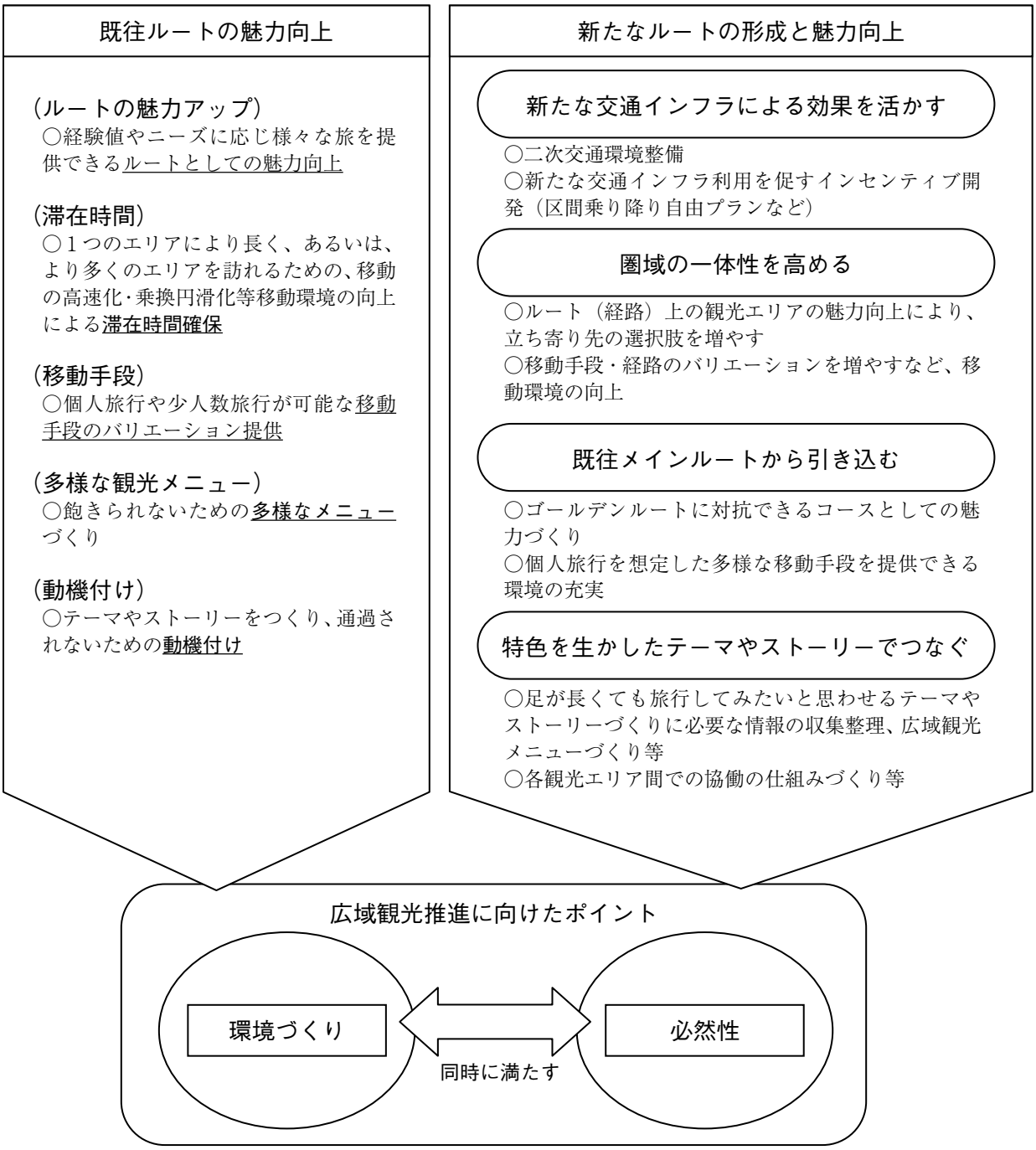
3-2 では既往ルートの魅力向上に向けた考え方として、「移動環境の向上」や「滞在が必要なメニューづくり」、「ワンストップしてもらうための動機付け」などの必要性を示した。

これに、上記で整理した「新たなルートの魅力向上に向けた視点」をふまえると、今後、広域観光を推進するための「ルートの魅力向上」に向けたポイントとして、

①限られた時間の中で広域移動を実現するための『**環境づくり**』とともに、

②広域に複数の場所を訪問する旅を行う『**必然性（動機付け）**』

の２点が必要であり、両者が同時に満たされることで広域観光が促されるものと考えられる。



観光ルートの魅力向上に向けた視点

2) 観光ルートの魅力を高める方策について

多様で魅力的な新たな観光ルートを実現するための方策として、「環境づくり」と「必然性（動機付け）」の２つの切り口から具体的な方策（広域連携方策）を整理した。

①“環境づくり”からの魅力向上のための方策

（考え方）
- 決められた行程の中で広域連携による観光（複数の観光エリアを周遊する旅行）を行うため、主に交通移動環境の充実によるルート内での**「移動経路の確保」**と**「移動時間の短縮」**により、これまで困難だった移動を物理的に可能にするための方策。
- またそうした行動を促す上で、**「移動にかかる費用」**に対する配慮もあわせて必要と考えられる。

１．移動経路または手段の確保

ア）高速交通インフラの整備・充実

〇高規格道路の整備推進（東海北陸道、能越自動車道、中部縦貫道、近畿自動車道など骨格的な高速交通体系の整備促進）

〇北陸新幹線の積極活用

〇域内空港の定期便・チャータ便の拡充（富山空港、小松空港、能登空港、新潟空港、信州まつもと空港）

イ）新たな移動手段の確保

〇公共交通による移動が脆弱なエリア間または都市間での手段確保

・北陸圏及び隣接県域内での観光向け都市間バスの運行等による移動サービスの充実（松本～高山間、高山～高岡間、高山～金沢・福井間など）

・レンタカーの広域利用サービスの充実（県境を越えた地域間での乗り捨て無料サービスの充実）

〇拠点となる鉄道駅や空港からの二次交通整備

・域内の新幹線駅や空港から、主要観光エリアまでの移動手段充実（金沢～能登、高岡～能登、新潟・上越～佐渡間など）

２．移動時間の短縮・移動の円滑化

ア）発地等から目的とする観光エリアまでの移動時間短縮

（鉄道・バスなどの公共交通による移動の場合）

〇新幹線や航空機など高速交通の利用サービスの向上

・運行便数、運行時間帯等の充実

・季節や曜日の限定、区間限定など、地域の観光イベント等とあわせた臨時便の運行など（季節列車、イベント列車等）

・高速交通と接続する在来線等の地域公共交通との連絡向上（例：北陸新幹線と JR 在来線など）

〇拠点となる鉄道駅や空港からの二次交通サービスの拡充

・域内の新幹線駅や空港から、主要観光エリアまでの移動手段確保（FIT 等の少人数旅行者に対応したサービス）

〇高速交通拠点施設内での円滑な乗り継ぎ環境整備

・鉄道駅や空港内での乗り継ぎに伴う移動円滑化（バリアフリー対応など）
・乗り継ぎ移動に伴うサイン等の案内表示の充実

（マイカーや団体バス等の自動車利用の場合）

○高速道路の利用促進に向けたサービス充実

・ETC 利用を前提とした、観光目的の高速道路利用者に対する料金割引サービスの充実

・サービスエリアでの情報発信機能充実（経路確認や目的地の情報提供）

・スマート IC 整備等による利用促進

○高速 IC から最寄りの観光エリアへの移動環境の充実

・目的とする観光地等への経路案内サービスの充実（高速サービスエリアでの情報発信、各種誘導サインの整備充実、地域 FM やモバイルなど情報通信技術を活用した情報提供等）

・渋滞、事故などの交通情報のタイムリーな発信

イ）目的とする観光エリア内での移動時間短縮

（鉄道・バスなどの公共交通による移動の場合）

○バス・電車・タクシーなど地域公共交通の充実

・目的とする観光施設や宿泊地への移動サービスの充実

・ターミナルから目的とする観光施設や宿泊地への移動経路、発着時間案内サービスの充実

（マイカーや団体バス等の自動車利用の場合）

○目的とする観光施設・宿泊地への移動経路の案内サービスの充実

（各種誘導サインの整備、道の駅等の休憩施設での情報発信、案内マップ、地域 FM やモバイルなど情報通信技術を活用した情報提供等）

○観光地や駅周辺等の駐車場への案内誘導

３．移動にかかる費用について

（鉄道・バスなどの公共交通による移動の場合）

○新幹線、飛行機等の周遊割引サービスの提供

・異なる交通モード及びレンタカーを組み合わせた場合の利用料金サービスの充実

・新幹線を活用した周遊フリー切符等の開発（3 日間程度有効の途中下車可能な商品、北陸新幹線と上越新幹線・ほくほく線等を組み合わせた商品などの開発）

・観光地、観光施設利用を組み合わせた商品開発など（鉄道周遊切符と観光イベントや宿泊などを組み合わせた割引サービス）

（マイカーや団体バス等の自動車利用の場合）

○ETC を活用した広域エリア内での高速道路利用料金の割引サービスの提供（NECXO 各社共同によるサービスの開発など）

○レンタカーの広域利用割引サービスの充実（県境を越えた地域間利用での割引サービスなど）

②“必然性（動機付け）”からの魅力向上のための方策

（考え方）
- 物理的に移動が可能であっても、そのルートを使って旅をしたくなる魅力がそこになければ旅行者には利用してもらえない。
- そのルートを実際に使って広域に観光する「必然性」を持たせるには、旅行者を喚起する「テーマやストーリー性」をもった旅（コース）がルートに求められる。
- ルート上の観光エリアに共通する資源から「テーマやストーリー」を位置づけ、具体的なコースと受け入れる体制をつくり、実際に売り込むまでの一連の取り組みがあって、「広域観光ルート」として一般消費者や観光事業者に認めてもらうことができるものと考える。

1）テーマ・ストーリー探し

①テーマやストーリーをつくるための資源や価値探し

○各種観光資源の実態把握

・未だ知られていない資源や価値の発掘（集客資源調査）

・ニューツーリズム等の新たな観光の実態把握

○地域の観光関係者相互の交流の機会

・セミナーやシンポジウムなどを通じた交流機会の確保とネットワークづくり

2）コースの設定と受け入れ態勢づくり

①コンセプトの設定とマーケティング

○コンセプトの設定（テーマやストーリーづくり）

○対象とする市場や客層の特性分析、トレンドの把握

②コースの具体化（商品化）

○個別資源のグレードアップ（磨き上げ）

○サービスシステム等のプログラムづくり

○人材の発掘・育成

③受け入れ環境

○ホスピタリティの醸成,（ボランティアガイド等）

3）売り込み（集客活動）

①集客活動の環境づくり

○活動計画、活動組織づくり

②売り込み（広報・PR 活動）

○一般消費者や旅行会社（エージェント）への広報・PR 活動

○広域観光情報の発信機能充実